大生

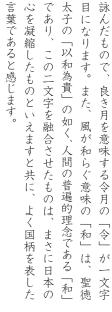




国の古典 な元号であります。歴史上初めて中国古典ではなく我が しい時代が幕を開けました。「レイワ」は響き良く爽やか でありましょう。 この度の御即位と共に新元号が「令和」と改元され新 天皇陛下御即位おめでとうございます。 『万葉集』からの出典で決まりました。脱中国

な宴には序文が記されています。 は百代の過客にして淫生夢のごとし」とあり、古来風雅 夜宴桃李園』の序文には「それ天地は万物の逆旅、 る…云々」とあります。また、中国・唐の李白による『春 は会稽山蔭の蘭亭に集まった。禊を執り行なうためであ 序文には「永和九年癸丑の年晩春の初めごろ、われく~ 之は『蘭亭序』を記していますが、その蘭亭曲水の宴の いにしえ中国・東晋(四世紀頃)の書聖とよばれる王義 光陰

が清らかに澄み、凛とした中にも春の気配を感じた様を まれた歌々の序文によるものであります。「初春の令月に 府の長官であった大伴旅人が催した梅花の宴、そこで詠 いて気淑く風和らぎ…云々」は、 今回、話題となった元号は、我が国の奈良時代、 梅の花が咲く頃の空気 太宰



を詠まざりける」とあるように、我が国の歌に対する想 すむ蛙の声をきけば、生きとし生けるもの、いづれか歌 今和歌集』が編纂され、その序文に「花に鳴く鴬、 のは歌でありました。 いが説かれましたが、日本人の精神性をよく伝えてきた 心を今に伝えています。さらに王朝時代には勅撰の『古 から庶民までの数々の歌があつめられ、古代の日本人の 『万葉集』には約四千五百首も収められていますが、 書店で一時売り切れ状態になるなど脚光を浴びています。 この慶事を契機として、優れた古典文学『万葉集』が 水に

吉の松」は歌枕にもなりました。これらは、『伊勢物語』 その原風景は数々の歌に詠みつがれました。やがて、「住 歌々。当地は美しい白砂青松の景観の地でありましたが、 んだ歌が数多く収録されています。古代の遣唐使の進発 つながっているのです。 な影響を与えてまいりました。すべては万葉の詠歌より に際して朝廷より奉幣があり、航海の安全祈願をした 『高砂』や御伽草子『一寸法師』などの舞台にも大き 『万葉集』『古今和歌集』の中には住吉の神や景観を詠 『源氏物語』など王朝文学の世界観、そして後世の謡

を新たにしていただく機会になれば幸甚です。 が増えて、受け継がれてきた精神や伝統に対するご認識 新しい元号をきっかけに、我が国の古典に親しむ人々

に繁栄しつつ良い時代になりますことを心よりお祈り申 令和の御代を寿ぎつつ、新しい時代が平穏であり、

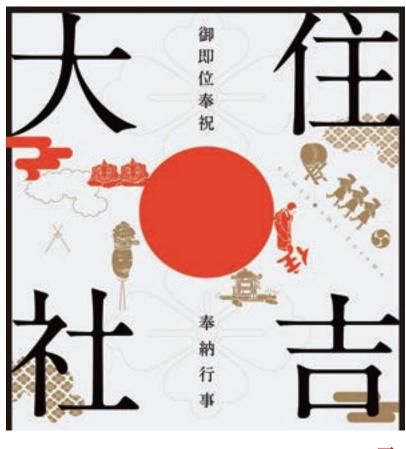


宮司 髙井 道弘









天皇陛下御即位奉祝行事・諸催事

於 住吉大社

4月1日 新元号「令和」公表 23日 上皇陛下、昭和天皇陵親謁の儀 18日上皇陛下、 神宮親謁の儀

27日 平成の大禊(枚岡神社・住吉大社)

5月1日 天皇陛下御即位 令和改元 30日上皇陛下、退位礼正殿の儀 住吉大社全国弓道大会(大阪府弓道連盟) 今上陛下、剣璽等承継の儀

践祚改元奉告祭

風流武者行事 (武者行事保存会)

住吉踊(住吉踊保存後援会)

江戸芸かっぽれ(家元櫻川ぴん助)

太鼓演奏(堺太鼓)

枕太鼓 (BS大阪第123団)

ライブ書道

(青霄書法会 上平梅径·TOSHIGO·5

上平泰雅・上平桃凜)

紅白餅授与 ※数量限定

記帳所開設 ※6日迄

神館公開 ※6日迄

2日 神輿奉舁 (住吉神輿会) 獅子舞演舞(御祓講獅子)

4日一般参賀 太鼓演奏(住吉祭太鼓会)

5日御田レンゲ開放(すみ博)

6日 卯之葉神事

御茶席(八木宗敏社中)

舞楽「萬歳楽・地久・太平楽」

(天王寺楽所以和貴会)

能「大典」

7日 初辰大祭 (山階彌右衛門・すみよし反橋能実行委員会)

20日 記念講演「御代替わりの御大礼」

(皇學館大学前学長 清水潔)



御即位奉祝提灯 奉納芳名

日本金網商工株式会社 株式会社シマノ 高津理容美容専門学校 サノヤスホールディングス株式会社 学校法人 清風学園 株式会社大島造船所 株式会社ダイゾー 南海電気鉄道株式会社 一般財団法人 住吉村常盤会

辰巳興業株式会社

株式会社大阪農林会館 株式会社コーニッシュ

三協興産株式会社

株式会社コーニッシュクレスコ 株式会社ラインビルド 富士エンジニアリング株式会社 富士ホームサービス株式会社

髙松 正忠 株式会社金剛組 水口 元彦

髙松 輝昂

株式会社中山製鋼所 間口ホールディングス株式会社 門林 哲郎

イチマツ家具株式会社

塚本 栄光丸水産株式会社 訓史

水野 天津 由紀子 恵美 正治

天津

朗典

智久

森 克良 株式会社新名工務店

舟田 良子 八幡産業株式会社

上市 恭司

黄本 久子 芳井 篤司

株式会社かんぽう

株式会社安部日鋼工業 大阪安全衛生協力会

日本文教出版株式会社

税理士法人 山下総合会計 日東化建株式会社

株式会社新栄商事





広正堂

安達 久雄

イゲタサンライズパイプ株式会社

北寅商店

株式会社エールコーポレーション

株式会社波多野工業

株式会社レイズ

宮城鉄筋株式会社

株式会社武田晒工場 株式会社ダイセン 有限会社ミズタニ工業

株式会社泉州物流サービス

株式会社LIXILトータルサービス 関西支店

南海ビルサービス株式会社

アイコム株式会社

レクスト株式会社

日の出屋クリーニング

ストーリーテラー株式会社

東粉浜神輿会 安立神輿会

堺神輿会

太平楽

御即位奉祝能 協賛芳名

富士ホームサービス株式会社 株式会社ダイリン

株式会社ウジタオートサロン 水野産業株式会社

社会福祉法人博光福祉会 音色つばさ保育園 株式会社 松本組

株式会社青山商事 和光ホームズ株式会社

株式会社インフィニティスタイル 山中能舞台

住江織物株式会社

公益財団法人 住吉名勝保存会

株式会社アンジュ 融心館 館長 多賀谷俊史 ありとおし薪能 蟻遠神社 木戸聖子

高安薪能 高安ルーツの能実行委員会 中国家庭料理 彩花

学校法人住吉学園 清明学院高等学校 きものクリニック きものの華栞

池田泉州銀行 帝塚山支店

美好寿司

古屋商店

(敬称略・順不同)

有限会社 春田自動車

奉祝能「大典」







梅枝 塩谷 惠 高砂 生一知哉 仕 舞

今村 哲朗

吉井 基晴 藤井 丈雄

ワキ働き

有松 遼一 山田薫 塩谷 惠

佐野 和之 藤井 丈雄 大久保 勝人 井上 裕久 大 生一知哉 上野 雄介

番 組

素謡

能

神歌

ツレ天女

山中 雅志 山階 彌右衛門

原大

シテ天津神

生一 知哉

今村 哲朗

大典 ワキ勅使

ワキツレ従者 ワキツレ従者 久馬 治彦 原陸

辻 雅之 上田悟 清水 晧祐 斉藤 敦

ご挨拶



小笠原流 追儺歩射式

ものです。先ず蟇目の儀、次に大的式があり、的の中央に悪鬼を追い払い、新しい年の除災招福と五穀の豊穣を願う とされます。 の拝観者で賑わいました。 「鬼」と墨書した木札をつけ、これを射ることで邪気を祓う ました。毎年の節分に合せて行われており、弓矢をもって 平成31年2月3日、境内・神館で追儺歩射式が奉納され 一般公開の儀式のため、 福を授かろうと大勢

をはじめ、小笠原教場の皆様方によってご奉仕いただきま 教場第三十一世宗家小笠原清忠氏のご嫡男・小笠原清基氏鎌倉時代よりの伝統を受け継がれる、弓馬術礼法小笠原 した。なお、例年5月1日開催の当社弓道大会でも、蟇目 の儀をご奉仕いただいております。

(権禰宜 河野 充浩



横綱が神前に手数入を奉納

を奉納しました。 関・鶴竜関の二横綱が恒例の神前手数入り(横綱土俵入)

住吉社頭の注連縄を腰に纏ったことに始まるとされ、「横 相撲会が催されていました。力士の最高位「横綱」の呼称は、 神として崇敬される住吉大社では、すでに平安時代には 綱」ゆかりの地です。 当社での奉納は7度目になります。古来より相撲の守護

参拝、 2千300人の参拝者が見つめる中、白鵬関が不知火型を、 奉納。続いて、二横綱は化粧まわしに身を改めて登場、約 \拝、次に横綱発祥の故事に倣って神前の楠に大注連縄を当日は八角理事長(元横綱北勝海)らが黒紋付きで正式

した。 横綱が四股を踏む度に 入りを奉納しました。 鶴竜関が雲龍型の手数 盛大な拍手が送られま 「よいしょ」の声が飛び、

康史)





島津家初代忠久公誕生記念祭

島津家初代忠久公誕生記念祭が執り行われました。 平成31年4月20日、住吉大社境内の誕生石前において

仰をあつめる聖地としての大祭となりました。住の鹿児島県人の心の拠り所として、また、現在も安産信ど、過去最多の120名超のご参列となりました。関西在修久様のご嫡男島津忠裕様をはじめ鹿児島県人会の方々な本年で7回目の斎行となり、島津宗家第32代当主島津本年で7回目の斎行となり、島津宗家第32代当主島津



村博康様、徳永重臣様にご奉納いただきました。財)示現流東郷財団第13代宗家の東郷重賢様をはじめ、有財)示現流東郷財団第13代宗家の東郷重賢様をはじめ、有次に薩摩藩御留流示現流兵法の奉納演武で、本年は(公

トにそれぞれご挨拶を頂戴いたしました。いて鹿児島県人会など関係者の交流会が行われ、特別ゲスいて鹿児島県人会など関係者の交流会が行われ、特別ゲス条典後の直会では、当社宮司と島津忠裕様の挨拶、つづ

係秘話をご披露いただきました。新にかけての貴重なご伝聞、そして勝海舟と島津家との関新にかけての貴重なご伝聞、そして勝海舟と島津家との関治維勝海がは、昨年の明治維新150年のご縁によりまして、まずは、昨年の明治維新150年のご縁によりまして、

変していただきました。 重なお話をしていただきました。 重なお話をしていただきました。 か次に、田辺三菱製薬の源流につながった、という貴なり、今日の田辺三菱製薬の源流につながった、という貴なり、今日の田辺三菱製薬の源流につながった、という貴なり、今日の田辺三菱製薬史料館の松本佑子様より、島津義弘をに、田辺三菱製薬史料館の松本佑子様より、島津義弘

会となりました。つなぐ話題も盛り沢山で、交流会は学術的にも有意義な盛津義弘公についてお話をいただきました。鹿児島と大阪を津後い、島津義秀様より、本年没後400年にあたる島

(権禰宜 逸見 忠志)

青梅住吉神社 御鎮座六百五十年記念

木遣りと奉納囃子が行われました。鎮座の住吉神社(梅宮貴史宮司

(梅宮貴史宮司)

による

町

平成31年3月9日、東京都青梅市住江

住吉山延命寺の開山に際して当社より勧請

青梅住吉神社は、応安2年(1369)





「屋台」赤天狐



「神功皇后」



「宮鎌倉」賢徳

ました。

参拝、つづいて囃子連の奉納囃子が行われ

保住職、そして総代・崇敬会・青梅大祭保

を創作されました。

奉納当日は、

梅宮宮司様・延命寺の大久

け、囃子連では「神功皇后の舞」の「水の章」 れ、特に〝平成最後を飾る行事〟と位置づ 大社奉納囃子プロジェクト」を起ち上げら にあたります。それを記念する企画「住吉 されたと伝えられ、今年はご鎮座650年

の大黒天の面をつけた「四丁目」、江戸祭囃師目「昇殿」から始まり、延命寺ゆかり 后の舞」 登場しました。その後、 プライズで当社「初辰」(猫)面を新調して 子の基本曲「仁羽」の披露です。今回はサ 「屋台」等と曲目がつづき、最後に「神功阜 の「風の章」「水の章」が披露され 「新囃子」「宮鎌倉」

ました。

した。 舞で、 囃子で、懐妊した皇后の御姿を演じるもの 形「神功皇后」の写し面を着用する独自の 皇后の遠征・船出を表現した素晴らしい演 です。さらに、今回初披露の「水の章」は、 神功皇后「風の章」は、 拝観も魅了されるほどの舞いぶりで 住江町の山だ 車人

臨まれ、 深く敬服いたしました次第です。ご一同様 その感動と達成感に共感しますとともに、 に重ねて深く御礼を申し上げます。 方は、足かけ二年にわたる計画でご奉納に 今回、 梅宮宮司様をはじめ関係者の皆様 無事に終えることが出来ました。

(権禰宜 坂野 文俊

顕彰碑 「遣唐使進発之地」奉納建立

並びに除幕式が行われました。 道の入口北側にて、顕彰碑「遣唐使進発之地」奉納奉告祭 令和の御代替わりに先立つ、平成31年4月28日、正面参

使・遣唐使の出発点であり、大陸の先進文化を採り入れ、 濤を超えて」をゆかりの当社で開催しました。当地が遣隋 よる小野妹子の遺隋使を記念して、平成19年(2007) まののにまい けんすじ おおおと、推古天皇15年(607)聖徳太子に やがて我が国独自の精神文化の形成につながり、 日中交流1400年記念国際シンポジウム「住吉津より波 今の日本



篤志によって顕彰碑の奉納建立となりました。 者に広く知っていただくために、崇敬者の田中孝司様のご 文化の礎となった、それらの歴史的な場所と記憶を、

唐使(遣唐使)に贈られた長歌を載せています。 子が描かれ、上部には『万葉集』の天平5年(733)入 組の船団でもって、住吉の津から大陸へ向けて船出した様 画です。 碑の正面は、当社絵所預の水江東穹画伯の染筆による絵 遣唐使たちが住吉大社で航海安全を祈り、 四艘一

はないかと思います。 湾岸の様子について、より理解を深めることが出来るので 載させていただきました。これによって、古代の住吉津や 談社)より「六世紀から七世紀頃の摂河泉の景観図」を転 よって名著『地形から見た歴史 古代景観を復元する』(講 また、背面には解説文と共に、 日下雅義先生のご厚意に

を駆使したもので、 たものです。これは大塚オーミ陶業株式会社様の最新技術 正面の絵画、背面の解説板は共に陶板によって製作さ 焼きものの特性を生かして製作された



この顕彰碑を建立に

(権禰宜 万力 雅

いつまで

日本古代の植物

神功皇后はこの地で榛油を搾った の か ?

奈良文化財研究所 神野 恵

承があります。 であり、 功皇后によって榛(ハシバミ)の実から油を絞った地 大阪市住吉区と堺市堺区にまたがる遠里小野は、 わが国における搾油の始まりであるとする伝 神

馬の飼育については、四條畷市の蔀屋北遺跡などで、

きると考えます。 油を絞ったと理解すれば、 祇祭祀をキーワードに、遠里小野伝承を考えた場合、 す。この油は、奈良時代には曼椒油と呼ばれ、馬の薬 代に椒(ハジカミ)の実から油を絞ったのが、 神功皇后の時期に遠里小野の地で椒(ハジカミ)から や天皇家の神祇祭祀に用いられました。馬の飼育と神 における搾油の始まりではなかろうかと考えられま 結論から言うと、 神功皇后の時代ともいえる古墳 きわめて整合的に説明がで わが国 時

平城宫東院地区

う。 搾油技術も伝わった可能性が高いと考えられましょ が考古資料からうかがえます。外来技術の一つとして おもに韓半島からさまざまな技術の伝来があったこと 人によって、須恵器と呼ばれる陶器作りが始まるなど、 この同じ時期、泉北丘陵でも韓半島から移住した渡来 り、周辺に馬を育てるための牧が数多く営まれました。 古墳時代中頃の馬の飼育に関する遺跡が見つかってお

絞り、 は宮内省主殿寮の鎮魂祭のことです。これは天皇の鎮もう一つのキーワードである神祇祭祀は、具体的に 成立した祭祀である可能性は高く、 住吉大社の埴土神事が、 によると、遠里小野では榛(ハシバミ)の実から油を 椒(ハジカミ)から絞った曼椒油でした。『搾油濫觴』 かでも古い時期に成立した可能性が高いと思われま とされています。 ある天皇の魂が活力を失うため、 の内容は、冬至の時期、 新嘗祭の前日、冬至の時期におこなうものです。 魂(みたましずめ・みたまふり)をおこなう儀式で 油を指すと考えるのが妥当であろうと思われます。 この祭祀に、 住吉大社の埴土神事に用いられたとあります。 儀式の内容からみて、神祇祭祀のな 灯明油として用いられているのが、 太陽神のアマテラスの子孫で 神功皇后の時期=古墳時代に それを取り戻す儀式 榛油はやはり曼椒

城宮の西南路

中胡麻油二斗六升 中國前地二十六本

そう考えるもう一つの理由は、

文献資料や出土文字

鳥池遺跡北地区 在子油三斗 富子木油 仏麻油一種 四升八合 和四上総国武昌郡

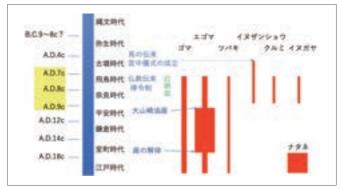
屋王部

和銅六年十月都高會里花油

丹波国味田郡曼椒油三斗 油の記載がある木簡(奈良文化財研究所 提供)



衢重兵衛『搾油濫觴』(現存は 1811 年)



日本における植物油の変遷



延喜式の油の貢納国

種類	油糧作物	性質	延喜式中の 記載場所	推定される用途
胡麻油	ごま	半乾性	主殿式諸司年料油条 主殿式釈奠料 など	灯明、馬の飼育、 武具の修繕
荏油	えごま	乾性	内匠式漆器条	漆器の製作
麻子油	あさ	乾性	主殿式諸司年料油条	太刀、靴の メンテナンス
閇美油	いぬがや	不乾性	主計上	?
海石榴油	つばき	不乾性	主計上	理容・美容
呉桃油	くるみ	乾性	主計上	?
曼椒油 (保曽木の油)	いぬざんしょう (ほそき)	半乾性	左右馬式馬薬条 左右馬式走馬鞍料 主殿式鎮魂料	馬の薬、 鞍の補修、 鎮魂の灯火

濫觴』 カミ す。 バミは、 ることは言うまでもありません。 くべき内容で、 してみても、 ずれにせよ、 が、 千年ほどの隔たりがあるのです。 良時代から、後世の『搾油濫觴』 であります。 千年の伝承の過程で、榛(ハシバミ)と椒 さまざまな植物油が明確に使い分けられていた奈 が混同された可能性は十分に考えられます。 にある記述の原典を確認することはできません しばしば混同されている点も重要と思わ この伝承がもつ内容は、 さらに、 きわめて示唆的であり、 後世に大事に伝えて 平安時代以降、 が記されるまでには、 残念ながら、 い 考古資料と照ら くべきものであ ハジカミとハ 一定の信頼を置 (ハジ 『搾油 れま ()

資料ともに

「 榛

(ハシバミ)」

の油が確認できな

(1

(住吉大社セミナー平成31年4月22日講座より)

仙巌園 曲水の宴 ―宮司参宴

曲水の宴とは、清流に盃を浮かべ、その盃が目の前を通り過ぎないうちに詩歌を作るというもので、奈良時代以前り過ぎないうちに詩歌を作るというもので、奈良時代以前の庭は、江戸時代の中頃に造られたものと推定され、作庭辺の孟宗竹林など、全国でも極めて珍しいものです。当地辺の孟宗竹林など、全国でも極めて珍しいものです。当地の曲水の宴では、武家の庭園にふさわしく、参宴者も江戸時代の武家の礼装(男性は直垂、女性は小袖五衣の装束)で宴に臨みます。

ながりのある方々を招待しての宴です。の詩歌の題は、宮中歌会始と同様に「光」で、義弘公とつ後世の教育や文化に影響を与えた人物でもあります。本年代島津義弘公は猛将として知られるほか、博愛精神のもと今年のテーマは「島津義弘公没後400年」です。第17

ご縁はいうまでもありませんが、今回は義弘公のご縁によるお、当社宮司の参宴については、初代島津忠久公とのながりのある方々を招待しての宴です。

の参宴となりました。を納したとも伝えられます。すばらしいご縁にむすばれてに薩摩へ帰還がかなったため、島津家から住吉大社に馬をに薩摩へ帰還がかなったため、島津家から住吉大社に馬をの参宴となりました。

(権禰宜 逸見 忠志)

参宴者

関ケ原町長 永吉島津家第19代目 住吉大社 宮司 第4代かごしま親善大使 赤十字奉仕団鹿児島県支部委員会委員長 九州旅客鉄道㈱執行役員鹿児島支社長 曾木家第24代目 加治木島津家第13代当主 西脇 曾木 島津 大石 島津 道弘 香菜 幸子 1和弘 康世 重隆 博之 義秀 様 様 様 様 様 様 様

披講者

霞会館披講会 会長

堤 公長様

宮司詠進歌

薄墨の煙たなびく桜島光る入日に赤く燃えたつ





社務日誌抄(平成三〇年一月から平成三一年四月分まで)

平成三〇年

- 朔日祭。
- B 宮司以下参籠。
- Ξ 日 明治祭。テレビ大阪取材。
- 五 日 住吉大社セミナー「北部九州の神功皇后伝承とその信仰」西南学院大 学非常勤講師 吉田扶希子氏。
- 六 日 **埴使** 小出 滝沢権禰宜奉仕(奈良県橿原市 雲名梯川俣神社・畝火山 日下権禰宜出席(大阪聖愛教会)。 (ウェスティン都ホテル京都)。ベンチャースカウトラウンドテーブル 口神社)。表千家十五代猶有斎千宗左 家元襲名披露晚餐会 宮司出席
- 七 日 卯之日祭。宮中献穀用御箱奉納式 ㈱金剛組代表取締役社長 刀根健一 天地の大神大親教会教長 中川雅寛氏以下五名参拝。 氏奉納。金刀比羅神社敬神婦人会会長 琴陵美苗氏以下三四名参拝。
- 八 日 初辰祭。十日会 宮司出席(四条畷神社)逸見権禰宜随行。阪南中学校 二年生五名・住吉中学校二年生三名 職場体験学習受入(翌日迄)。
- 九 〇日 日 大阪市教育委員会文化財保護課現地見学会 高階権禰宜案内。市戎大 大阪府玩具人形問屋協同組合連合会・大阪玩具人形住吉講講元 熊本 和浩氏以下三〇名参拝。 同総会 神武権宮司・太田 名村権禰宜出席。
- 装道礼法きもの学院 七五三詣着付直奉仕。神社スカウト協議会総会 國講例祭打合会 富澤権宮司以下神職五名出席。

五社秋季例祭。

庄司権禰宜出席(大阪天満宮)。

- 宮中献穀 宮司 逸見 渋谷権禰宜・御田講 畑山勇氏 上野優氏 山本良治 建造物保存技術協会 丸石暢彦氏来社打合、神武権宮司 献穀(前日入)。大阪府神社総代会・伊勢神宮崇敬会大阪本部理事会 氏·武者行事保存会会長 小島康秀氏参内、明治神宮·靖國神社参拝 大阪府文化財保護課 神谷悠実氏 同 櫻井久之氏・公益財団法人文化財 富澤権宮司出席(神社庁)。平成三十年台風二一号被害復旧工事委員会 高階権禰宜出
- 茶道稽古(八木宗敏社中)。パナソニック映像㈱取材。
- 五日 **十五日祭・七五三祝祭**。真住中学校二年生五名 職場体験学習受入(翌 日迄)。嶋田昌功氏来社奉賛。
- 神社庁第九支部神宮大麻頒布始奉告祭 富澤権宮司·河野 水野権禰官 参列。北前船寄港地フォーラム尾道 神武権宮司出席(広島県尾道市し まなみ交流館)。
- 住吉村常盤会 村内安全祈願祭。大阪市農業フェア会長 菱井由一氏以 下一〇名奉納参拝。
- 八日 万博開催実現必勝祈願祭 二〇二五年大阪万国博覧会を実現する議員 島県二本松市上太田 住吉神社宮司 太田寅好氏以下四○名参拝。毎日 連盟・関西経済連合会・大阪商工会議所・関西経済同友会等参拝。福

放送・読売新聞取材。

- 一九日 十八日会 宮司出席(橿原神宮)逸見権禰宜随行。㈱フジキン創 八十八周年記念感謝祭 岡権禰宜出席(帝国ホテル大阪)。
- 二〇日 海上交通安全祈願祭。 ビジット・ジャパン地方連携事業 オーストラ 所得税年末調整説明会 中野 宮嵜権禰宜 田岡主事補出席(住之江区民 宜講師。田所副庁長 大鳥神社特任宮司慰労会 富澤権宮司出席。源泉 業 岡権禰宜講師。奈良県佐藤薬品モラロジー事務所研修会 小出権禰 リア・プロモーション事業視察受入。清江小学校はぐくみネット事
- 三日 本殿清掃。特殊神饌調製。大阪木材商住吉講講長 橋本博明氏以下 一三名参拝。宮司以下参籠。
- 三日 新嘗祭 責任役員 太田重彦氏以下常任総代・御田講蓬莱講講元 山本英 部清孝氏蓬莱講以下崇敬者参列。にんやか田邊 「神馬ウォーク」 参拝。 氏・住吉踊保存後援会会長 長谷川八重子氏・大阪供奴保存会会長 阿 夫氏・JA大阪市住吉支店長 森田晃好氏・同住之江支店長 山本良治
- 四日 二〇二五年万国博覧会 開催地「大阪」決定。 住吉大社史料所預 田中卓氏(皇學館大学名誉教授)帰幽、享年九五歳;
- 二六日 天王寺楽所以和貴会演奏会 東野権禰宜出演(フェスティバルホール)。 同 宮司参観。住之江政策研究会 逸見権禰宜出席(スイスホテル南海大
- 二七日 故田中卓氏通夜祭 宮司・富澤権宮司以下各参列(伊勢市祖霊社)。立 権禰宜講師。熱田神宮学院研修旅行懇親会 万力 附柴権禰宜引率。 みよし反橋能実行委員会 小出権禰宜出席。 察署協議会 岡権禰宜出席。日本文教出版㈱全国営業部会研修会 小出 正佼成会足立教会教会長 植原伸江氏以下二三名参拝。大阪府住吉警 す
- 二八日 故田中卓氏告別式 宮司・神武権宮司・高階権禰宜参列。熱田神宮学 院生徒七名参拝。神社庁第四支部神宮大麻頒布始奉告祭 富澤権宮司
- 二九日 神稜講秋季例会 伊太祁曽神社・紀三井寺参拝 宮司参加。竹本小住太 夫氏参拝。テレビ大阪取材。
- 三〇日 **貴船社仮遷座祭**(去九月四日の台風による社殿倒壊のため神楽殿へ奉 斎中を立聞社へ仮遷座)。歳末特別警戒部隊初隊式 神武権宮司・神楽 女二名参列。初詣警備会議。

二二月

- 日 朔日祭 住之江連合町会参列。
- = 日 司・逸見権禰宜受講。吉祥殿ブライダルフェア。 初辰祭。近畿地区神社庁連絡協議会 御代替に関する研修会 富澤権宮
- Ξ 日 住吉踊保存後援会支部長会 神武権宮司以下神職五名出席。 読売新聞

- ラウンドテーブル 日下権禰宜出席(大阪聖愛教会)。 靖國神社参拝ツアー 富澤権宮司参加(翌日迄)。ベンチャースカウト四 日 御田講年末懇親会 宮司 高階権禰宜以下神職四名出席。日本会議大阪
- 禰宜奉奏(四天王寺)。イチマツ家具 和田侚子氏来社奉贊。講演会 小出権禰宜講師(異神社参集殿)。四天王寺樟蔭忌雅楽 東野権五 日 館友神職懇話会 逸見権禰宜出席(熱田神宮)。巽神社敬神婦人会神徳

- 席(なんばスカイオ)。館友会大阪府支部 逸見権禰宜以下神職四名出席(なんばスカイオ)。館友会大阪府支部 逸見権禰宜以下神職四名出本社)。ミナミまち育てネットワーク主催シンポジウム 逸見権禰宜出八 日 みなと浪曲寄席 神武権宮司・岡田禰宜観覧(間口ホールディングス㈱
- 九 日 大阪市立住之江会館講座 小出権禰宜講師。
- ○日 十日会 宮司出席 当社例会、坐摩神社宮司 渡辺紘一氏・生國魂神社宮司 中山幸彦氏・枚岡神社宮司 中東弘氏・水無瀬神宮宮司 水無瀬忠成司 中山幸彦氏・枚岡神社宮司 中東弘氏・水無瀬神宮宮司 水無瀬忠成
- 臨時総会 万力権禰宜以下一二名出席(吉祥殿)。 不知火親方来社。宿院頓宮常任総代会 富澤権宮司出席。神道青年会元)。日本相撲協会大阪場所横綱手数入奉納式打合会 富士ヶ根親方・一日 第一本宮幣殿檜皮葺屋根臨時修復工事(台風被害の剥落部分補修復
- 小出権禰宜参拝。茶道稽古(八木宗敏社中)。 一四日 和歌山市玉津島神社『歌神と古今伝受』刊行御礼 宮司・神武権宮司・
- 名出席。 権宮司以下神職九名出席。安立神輿会忘年会 万力権禰宜以下神職四五日 十五日祭。正月奉仕者事前説明会。住吉大社御大典奉祝委員会 神武五日

境内建造物文化財登録奉告祭(去五月一〇日付 摂社志賀神社本殿以下

三四件の文化財登録 文部科学省告示第七五号)。御祓講獅子正月打合

- **八日** 十八日会 宮司出席 (湊川神社) 逸見権禰宜随行。浪速学院理事会評議
- 山郡江差町八大龍王神八江聖団本宮)。藤 附柴権禰宜出席。故出村俊子刀自命葬儀 中野権禰宜参列(北海道檜藤 附柴権禰宜出席。故出村俊子刀自命葬儀 中野権禰宜参列(北海道檜熊本県熊本市 日蓮宗長延寺住職 原應仁氏外参拝。なにわ七幸総会 進九日 埼玉県さいたま市岩槻区仲町 住吉神社世話役代表 眞中昭夫氏参拝。
- 神馬白雪号 帰社奉仕(正月七日迄) 一神馬白雪号 帰社奉仕(正月七日迄) 神馬白雪号 帰社奉仕(正月七日迄) 神馬白雪号 帰社奉仕(正月七日迄) 神馬白雪号 帰来を祀う会 宮二〇日 海上交通安全祈願祭。桂米團治の還暦と噺家生活四十年を祝う会 宮
- 一一日 畑美枝子古希記念ソプラノコンサート 宮司観覧(東京都銀座王子ホ・ル) 渋谷権禰宜随行。
- ||二日 ||二〇||五年大阪万国博覧会を実現する議員連盟 御礼参拝。宮司以下

参籠。

- 福山権禰宜出席。 基神主紀州青石調査会 小出権禰宜案内。ボーイスカウト訓練費徴収基神主紀州青石調査会 小出権禰宜案内。ボーイスカウト訓練費徴収基神主紀州青石調査会 小出権禰宜案内。ボーイスカウト大阪第一二三団 発団記念参拝。天皇陛下の二三日 天皇祭。ボーイスカウト大阪第一二三団 発団記念参拝。天皇陛下の
- 理事長 高野伸生氏・中野雅志氏等来社 宮司面談。心寺住職 永島全教氏・如意和寺副住職 加島裕和氏・住吉名勝保存会心寺住職 永島全教氏・如意和寺副住職 加島裕和氏・住吉名勝保存会 高石市長 阪口伸六氏・河内長野市長 島田智明氏・観二五日 楠公ツーリズム推進協議会・「楠公さん」大河ドラマ誘致協議会 大阪
- 二八日 皇學館大学生八名・京都國學院生徒一名 神務実習(正月六日迄)。
- 三一日 師走大祓式。除夜祭。宮司以下神職参籠。年越。

平成三一年

月

- 日迄)。 田を介入のでは、元旦祭・天皇陛下御即位三十年奉告祭。初詣(※正月三が、日参拝約二三二万人)。住吉大社芳志会・住吉踊保存後援会・市戎大田参拝約二三二万人)。住吉大社芳志会・住吉踊保存後援会・市戎大
- 日 元始祭。神賑行事 江戸芸かっぽれ奉納。

Ξ

- 五 日 東粉浜新年互礼会 富澤四 日 踏歌神事、福の餅まき。
- 日 東粉浜新年互礼会 富澤権宮司以下神職三名出席。
- 六 日 初卯祭。
- 会 安田純生氏・佐沢邦子氏選考。神稜講・御神酒講新年参拝。奉仕、神馬講講元 河村博史氏以下一五名参列。新年献詠祭短歌選者日 白馬神事・昭和天皇陵遥拝式、神馬白雪号・杉谷昌保氏・川上拓生氏
- 九 日 市戎大國社宵宮祭(宵えびす)、八 日 裏千家今日庵初釜式 宮司出席。
- 取締役 網干貴之氏・福娘各五名等各講員奉仕(翌日迄)。 山本英夫氏・なにわの手打ち保存会会長 賀集啓次氏・㈱新魚栄代表山本英夫氏・なにわの手打ち保存会会長 賀集啓次氏・㈱新魚栄代表子会会長 長田淳子氏・住吉御崎講講元 友澤洋一氏・住吉御田講講元 北正彰氏・夏越女保
- ○日 天機奉伺 宮中参内、東宮御所・秋篠宮邸 新年御機嫌伺、宮司参向 渋
- 一日 港住吉神社新年祭。みずほ銀行住吉支店鏡開き(神像奉斎)。
- 初釜式 神武権宮司出席。 | 一二日 若宮八幡宮例祭(湯立神事)、宮原幸夫氏以下神楽奉仕。表千家不審庵
- 員三○名奉仕。宿院頓宮新年祭。─三日 御結鎮神事、奉射神事弓十番 大阪府弓道連盟会長 中野英夫氏以下会
- 氏、地位「新しき住吉暦に紅の紐むすびて大黒柱に吊るす」荒濵悦子位「夜の漁終えて帰港の舳先には漁師初日の孫が手を振る」米谷 茂子氏・産経新聞社大阪本社 小田雅弘氏 西出陽輝氏・入選者参列。天一五日 十五日祭・新年献詠祭(産経新聞社後援・末廣堂協賛)、選者 佐沢邦

岡 光氏。古札焼納式(とんど)。 氏、人位「百歳を迎える父の注連飾り掛けし玄関に初日さし来る」廣

八

- 日本相撲協会新年挨拶 岡権禰宜訪問(両国国技館)。健康保険委員講 習会 中野 武田 宮嵜権禰宜受講。
- 出雲大神宮宮司 岩田昌憲氏参拝
- 一九日 初辰祭(二の辰)。

二〇日 海上交通安全祈願祭。

- 三日 神宮 宮司新年参拝・逸見権禰宜随行
- 大阪船主会海上安全祈願祭、大阪船主会会長 八嶋浩一氏・近畿運輸 報協会会長 小林雅行氏以下四○名参列。墨江丘中学校二年生五名 職 局局長 八木一夫氏・大阪海上保安監部監部長 中村明氏・近畿海事広 場体験学習受入(翌日迄)。
- モリサワ文字文化フォーラム 宮司出席(㈱モリサワ)。今宮戎神社宮 司 故津江明宏氏通夜祭 宮司参列(やすらぎ天空館)逸見権禰宜随行。
- 文化財防火デー住吉大社消防訓練 宮司以下全職員実施 住吉消防署立 年互礼会 小出権禰宜出席。 参列(やすらぎ天空館)逸見権禰宜随行。帝塚山街づくり交流会合同新 会 自衛消防隊協力。今宮戎神社宮司 故津江明宏氏葬場祭 神武権宮司
- 読売新聞わいず倶楽部クリーン隊一九七名清掃奉仕。神道青年会理 SEOUL経済・ツルモンド各取材。 事会 武田 渋谷権禰宜出席(神社庁)。 大韓民国 朝鮮日報·京郷新聞
- 今主社例祭。熱田神宮 宮司新年参拝 逸見権禰宜随行。日本民謡みよ 宜参列。国旗掲揚推進御堂筋パレード 万力 武田 渋谷権禰宜参加。 し会名取式 二代目会主 髙堂嚮州氏参拝。 住吉武道館武道祭 神武権禰
- 二八日 清め会・芳志会・住吉自衛消防協議会 各新年参拝。 芳志会新年会 宮司・ 宮嵜 水野権禰宜出席。住吉自衛消防協議会新年互礼会 高階権禰宜出
- 三〇日 館友会大阪府支部会 滝沢 中川権禰宜出席。樽平酒蔵㈱ 啓翁桜奉納

二月

- B **朔日祭。立聞社例祭。海士子社例祭。**十日会新年会 宮司以下神職七 名出席。JRおおさか東線全開業記念ゆめまち『榎並猿楽』講座 小出 権禰宜講師(城東区民センター)。
- 日 住吉踊保存後援会支部長幹事会 神武権宮司以下神職五名出席。
- \equiv 日 世宗家 小笠原清忠氏以下近畿菱友会三六名奉仕。港住吉神社節分火 節分祭。厄除振舞善哉。奉納追儺歩射式、弓馬術礼法小笠原教場三一
- 日 全国寺社観光協会『寺社NOW』誌宮司取材。
- 五 四 日 出席(堺市博物館)。南都銀行堺支店NANTO堺交流会 神武権宮司 初詣警備総括会議 宮司以下神職七名出席。国際宗教同志会理事会 富 澤権宮司出席(金光教泉尾教会)。住吉祭礼図屛風研究会 小出権禰宜
- 六 日 大阪市立美術館主任学芸員 秋田達也氏 御文庫図書閲覧。住吉村常盤 会事務局来社奉賛。
- 七 日 兵庫県篠山市黒石住吉神社宮守 藤本嘉彦氏参拝

- H 住吉中学校生徒職場訪問受入。「楠公さん」大河ドラマ誘致協議会 逸 見 小出権禰宜参加。市戎大國講正月奉仕反省会 富澤権宮司以下神職
- すみよし歴史案内人研修会 小出権禰宜講師(東粉浜小学校)
- 〇日 宮司以下参籠。吉祥殿ブライダルフェア。
- 日日 紀元祭・橿原神宮遥拝式・卯之日祭。 霊友会第八支部西部二地域 森 会」富澤権宮司出席(神社庁)。 本裕太氏以下約一〇〇名参拝。日本会議大阪「建国記念をお祝いする
- 三日 初辰祭。 鹿児島県鹿児島市 花尾神社禰宜 貴島吉紀氏・天之御中主神 橋能実行委員会 小出権禰宜出席。 社禰宜 潮満宗人氏・新田神社権禰宜 種子田宰氏各参拝。すみよし反
- 三日 神社庁第九支部初会研修旅行 富澤権宮司・河野 水野権禰宜参加(翌日 社中)。宮浦宗正氏 茶碗奉納。 岡 武田権禰宜出席(スイスホテル南海)。茶道稽古始(裏千家八木宗敏 迄)。住吉警察署協議会 岡権禰宜出席。日本相撲協会大阪場所御免祝
- 四日 小樽住吉神社宮司 星野昭雄氏参拝。院友会大阪府支部会 庄司権禰宜
- 五日 十五日祭 住吉地区参列。大阪市立美術館「フェルメール展」内覧会 宮司参加・高階権禰宜随行。堺まつり実行委員会 万力 古布権禰宜出 席。住吉区長居保利神社宮司 故乾充宏氏通夜祭 宮司以下参列。
- 一六日 住吉祭神輿渡御実行委員会。生き物文化誌学会大阪例会 小出権禰 発表。同交流会 宮司・神武 富澤権宮司出席(吉祥殿)。 宜
- 一七日 神社スカウト協議会神道章講習会 庄司権禰宜講師(参集所)。
- 一八日 沖縄なにわの塔慰霊祭 富澤権宮司・中川権禰宜参列(二〇日迄)。
- ふみの会会長 牧野武彦氏以下二四名参拝。大阪市史料調査会調査員 古川武志氏 生駒孝臣氏史料調査。衛士・社務員・観境士参拝旅行第 権禰宜参列。 一班引率 水野 附柴権禰宜出張(翌日迄)。 御田講 河内家通夜式 庄司
- 二〇日 海上交通安全祈願祭。平成三十年台風二一号被害復旧工事 国庫補助 日本相撲協会立浪部屋 境内寄宿(三月三〇日迄)。 氏・(公財)文化財建造物保存技術協会 丸石暢彦氏・高階権禰宜出席。 事業施工者選定委員会 大阪府文化財保護課 神谷悠実氏 同 櫻井久之
- 二日 土俵祭降神之儀 立浪部屋参列。衛士・社務員・観境士参拝旅行第二 司・高階権禰宜参列。 班引率 岡 山下権禰宜出張(翌日迄)。 御田講 河内家告別式 神武権宮
- 三日 関西北前船研究交流セミナー実行委員会準備会 神武権宮司・逸見 小 出権禰宜出席(大阪市役所)。
- 三日 兵庫県三木市志染町広野住吉神社総代会 橘田惣一氏以下一八名参拝 宮司以下参籠。 伊弉諾神宮宮司 本名孝至氏・志筑神社宮司 白髭 明氏以下一四名参拝!
- 二四日 天皇陛下御在位三十年奉祝奉告祭(臨時中祭)。御祓講獅子正月反省会 万力 名村権禰宜出席。
- 五五日 住吉大社セミナー「口真似・酢薑(狂言)」大蔵流狂言方能楽師・大阪 音楽大学客員教授 安東伸元氏(共催「すみよし反橋能」会長 氏田耕吉
- 二六日 長唄吉住会百周年・NPO法人三味線普及の会二十周年記念祝賀会

児二六名・墨江幼稚園児三〇名参加。日本相撲協会力士会挨拶 富澤 権宮司・岡 武田権禰宜訪問(府立体育会館)。 宮司出席(東京会館)逸見権禰宜随行。 わんぱく相撲体験 住吉幼稚園

二八日 関西経済同友会八名参拝。

日

- 日 手数入奉納式・横綱大注連縄奉納式 日本相撲協会 八角理事長・高島 呼出 次郎、典儀 式守錦太夫ほか各奉仕。清風学園清風高等学校 卒業 呼出 拓郎、西横綱 鶴竜・露払 正代・太刀持 錦木・行司 木村玉治郎・ 親方以下、東横綱 白鵬・露払 石浦・太刀持 照強・行司 式守伊之助・ 証書授与式宮司参列・逸見権禰宜随行。
- Ξ 日 関西大学なにわ大阪研究センター教授 黒田一充氏「住吉大社の石燈 籠をめぐる」ガイドツアー実施 四〇名参加。NHK・BS1 浅田真
- 日 侍者社例祭。責任役員会·常任総代会。
- 六 五 日 埴使 太田 名村権禰宜奉仕(奈良県橿原市 雲名梯川俣神社・畝火山口 神社)。山形県山形市 湯殿山神社宮司 渋谷宣寛氏夫妻参拝。
- 七 日 卯之日祭 墨江地区参列。立浪部屋激励会 宮司出席。櫻井治男先生の 坂野権禰宜奉仕(泉北メモリアルホール)。 乃木会館)。元西本名誉宮司夫人 故西本志重子氏通夜祭 神武権宮司・ 南方熊楠賞受賞並に古稀をお祝いする会 高階権禰宜出席(東京都港区
- 八 日 初辰祭。吹田市泉殿宮宮司 宮脇一彦氏・同責任役員 大湯敏彦氏以下 七名参拝。元西本名誉宮司夫人 故西本志重子氏告別式 宮司参列。
- 九 日 ジャニーズ事務所大阪オフィス・㈱ジェイストーム社長 藤島ジュリー 東京都青梅市住吉神社宮司 梅宮貴史氏以下五〇名参拝 木遣り神楽奉 フォーラム二〇一九堺 小出権禰宜講師(浜寺公園レストハウス)。 景子氏参拝。御田植神事打合会議 宮司以下神職七名出席。大阪湾 ト日本連盟近畿ブロック当番県連 大阪連盟理事長 横山稔氏参拝。㈱ 本相撲協会立浪部屋親方 立浪耐治氏以下一五名参拝。ボーイスカウ 。海上自衛隊潜水艦もちしお艦長 長西圭輔氏以下三四名参拝。日
- 住吉祭太鼓会会議 万力 附柴 渡會権禰宜出席。
- デンマーク王国シルケボー国民学校生徒参拝。
- 平成三十年台風二一号被害復旧工事 国庫補助事業入札実施(谷上社寺 兵庫県神戸市西区押部谷住吉神社宮司 岡祥子氏以下一八名参拝。一 座祭 逸見 滝沢権禰宜奉仕。社内ひなまつり 神楽女以下女子職員参加。 の宮巡拝会関西ブロック 関口行弘氏以下二三名参拝。南海稲荷社遷
- 堺まつり会議 万力権禰宜出席(堺市役所)。墨江丘中学校卒業式 岡権 禰宜参列。商船三井松柏会例会 小出権禰宜講師(神戸市産業振興セン 文化財建造物保存技術協会 丸石暢彦氏立会。宿院頓宮参拝旅行 出雲 工業㈱落札)大阪府文化財保護課 神谷悠実氏 同 櫻井久之氏・(公財) 大社正式参拝 富澤権宮司·古布権禰宜引率。 茶道稽古 (八木宗敏社中) 。
- 五日 十五日祭、清水丘地区参列。住吉幼稚園修了式 河野権禰宜参列。 江幼稚園修了式 岡権禰宜参列。神道青年会予定者会議 名村権禰宜出 墨

- 一六日 本殿清掃。特殊神饌調製。宮司以下参籠。
- 一七日 祈年祭・神種頒賜祭、吉田蓑太郎氏 文楽 「寿三番叟」奉納。責任役 東京スポーツ新聞撮影。 存後援会会長 長谷川八重子氏·大阪供奴保存会会長 阿部清孝氏等 江支店長 山本良治氏・住吉名勝保存会理事長 高野伸生氏・住吉踊保 阪市代表理事組合長 菱井由一氏・同住吉支店長 森田晃好氏・同住之 一三〇名参列。すみよし歴史案内人の会研修旅行 小出権禰宜参加。 員 太田重彦氏以下総代・御田講講元 山本英夫氏以下同講員・JA大
- 一八日 住吉大社セミナー「住吉開帳 神功皇后の御事―年中行事の中で―」京 季慰霊祭 富澤権宮司参列。 都女子大学名誉教授・当社教学顧問 八木意知男氏。神社庁祖霊殿春
- 一九日 祇園辻利グループ会長 故三好通弘氏通夜式 宮司・富澤権宮司参列(京 出席(大阪天満宮)。 都中央ブライトホール)。神社スカウト協議会理事役員会 庄司権禰宜
- 二〇日 海上交通安全祈願祭。多賀大社宮司 故犬上岳大人命神社葬 宮司参列 氏告別式 神武権宮司 岡権禰宜参列(京都中央ブライトホール)。住吉 大社芳志会大阪天満宮参拝·大相撲大阪場所観戦 富澤権宮司以下神 (多賀公益会館)逸見権禰宜随行。祇園辻利グループ会長 故三好通弘
- 二日 皇霊殿遥拝式。招魂社春季例祭。神馬塚 宮司 高階権禰宜参拝。安立 粉浜千度講 富澤権宮司・万力 日下権禰宜出席(東粉浜会館)。 各千度講参拝。安立連合千度講 小出権禰宜講師(安立福祉会館)。東 連合町会・安立一丁目中町会・安立四丁目北町会・旧中在家東之町
- 三日 松苗神事献詠俳句選者会 古賀しぐれ氏・小杉伸一路氏・森田純一郎 実行委員会 神武権宮司・逸見権禰宜出席(大阪市役所)。神道政治連 阪安全祈願祭、オリックス野球クラブ㈱代表取締役社長 湊 通夫氏・ 盟大阪府本部役員会 富澤権宮司出席(神社庁)。 警察署長 辻井聡氏就任挨拶 宮司面談。関西北前船研究交流セミナー 同監督 西村徳文氏・同選手会会長 若月健夫氏以下五○名参拝。住吉 代理氏選考。オリックス・バファローズ必勝祈願祭・京セラドーム大
- 三日 古林グループ創業百周年 同代表取締役会長 古林潤也氏以下三〇〇名 禰宜講師(万領会館)。草薙会近畿支部役員会 万力 附柴権禰宜出席。 権禰宜講師(天視孝道館)。住吉連合地域活動協議会教育部会 小出権 参拝。関西学院大学国際学部教授 關谷武司ゼミ 「百年桜セミナー」 岡 魚萬珍味堂取締役会長 網干輝雄氏来社奉賛。
- 二四日 土俵祭昇神之儀 立浪部屋参列。(一社)大日本武徳会大阪支部五〇名参 拝。新年度新規採用者研修会(三一日迄)。
- 二五日 皇學館大学評議員会 宮司出席。日本曆学会総会 川畑権禰宜出席(八坂
- 二六日 氏参拝。十日会 宮司出席(枚岡神社)逸見権禰宜随行。 神社本教主管 村田健史氏(福王子神社宮司)以下神社関係者二○名参 会 桜祭実行委員会 富澤権宮司出席。 拝。長唄吉住会代表・NPO法人三味線普及の会理事長 吉住小三代 宿院頓宮崇敬
- 二七日 住吉踊保存後援会バスツアー大神神社参拝 進藤 渡會権禰宜引率。 吉祭太鼓会 附柴 渡曾権禰宜出席。読売新聞取材。 住

- 二八日 浪速学院理事評議委員会 神武権宮司出席。神道政治連盟大阪本部代 講座 小出権禰宜講師(すみよし隣保館寿)。 (大阪市立大学都市研究プラザ)。住吉隣保事業推進センターかなえ会 (神社庁)。住吉公園一五〇年記念「歴史探訪」委員会 小出権禰宜出席 議員会 富澤権宮司出席(神社庁)。神道青年会理事会 滝沢権禰宜出席
- 大阪府神社庁参事 芦立幸正氏退職送別会 富澤権宮司出席(大阪天満 宮会館)。堺まつり会議 万力 古布権禰宜出席(堺市役所)。
- 三日 禊行事。職員辞令「権禰宜渋谷大樹 権禰宜を免ず(山形県山形市 湯殿 山神社権禰宜へ転任)」ほか。

四月

- B 朔日祭。初辰祭。職員辞令「権禰宜小出英詞 教化課長」「権禰宜庄司誠 堀ノ内紀早・大西菜緒・谷下 萌・岡冨 遥 神楽女見習」。 託 (元権禰宜 前日付退職) J 和泉綾実 主事補・秘書課勤務 J 北側萌加・ 吉貴 神人・祭儀部勤務」「大江紗貴馬 出仕・祭儀部勤務」「東野藤子 嘱 会計課兼管理課兼秘書課勤務」「倉智啓太 権禰宜·祭儀部勤務」「西角
- Ξ H ベンチャースカウトラウンドテーブル 日下権禰宜出席(大阪聖愛教
- Ξ 日 氏、人位「住吉の千木は帆柱風光る」小林けい氏。御田鯉幟設営。 植う」藤澤みか子氏、地位「松籟は宮の語部苗木植う」山之口倫子 路氏・入選者・岸の姫松講以下参列。天位「豊なる大地に感謝苗木 松苗神事・神武天皇陵遥拝式(朝日新聞社・岸の姫松講後援)、松 元八坂神社宮司)帰幽、享年九七歳。 住吉大社名誉宮司 真弓常忠(皇學館大学名誉教授·神社本庁教学顧問· 務所所長 田邊良忠氏・献詠選者 古賀しぐれ氏 大橋晄氏 小杉伸一 苗献木 岩根正尚氏・岸の姫松講講元 纓坂修平氏・住吉公園管理事
- 匹 H 故住吉大社名誉宮司 真弓常忠大人命通夜祭 神武権宮司以下奉仕、 司以下職員参列(やすらぎ天空館)。読売新聞取材。 宮
- 五 H 五社春季例祭。故住吉大社名誉宮司 真弓常忠大人命葬場祭 神武権宮 司以下奉仕、宮司以下職員参列(やすらぎ天空館)。
- 六 日 正印殿祭。山茶花社家元 西島真森氏参拝。兵庫県加西市北条住吉神 社春季例祭祭員 岡権禰宜奉仕。ボーイスカウト大阪一二三団会議 庄
- 日 島津家別邸仙巌園「曲水の宴」宮司参宴・逸見権禰宜随行。
- 八七 日 国庫補助事業 第一本宮・第二本宮・第四本宮以下社殿 台風被害復旧 氏参拝。真言律宗総本山西大寺執事長 松村隆誉氏来社。 工事開始(谷上社寺工業㈱施工)。八大龍王神八江聖団総裁 出村龍日
- 九 日 種貸社例祭。神道青年会部会 名村権禰宜出席(露天神社)。
- 〇 目 天皇皇后両陛下御結婚六十年奉祝奉告祭(臨時中祭)。港住吉神社楠玉 野権禰宜参列。茶道稽古(八木宗敏社中)。神楽笛講習会(講師 桒垣忠 (国立劇場)。住吉幼稚園入園式 岡権禰宜参列。墨江幼稚園入園式 河 稲荷社例祭。天皇陛下御在位三十年奉祝感謝の集い 逸見権禰宜参加 行氏)。読売新聞夕刊「すみよっさん春」連載開始。
- 二日 卯之日祭。神社本庁研修所指導神職研修 岡権禰宜受講(神宮道場 一六 日迄)。安全衛生教育講習会 倉智権禰宜・西角神人・大江出仕受講(大

- 阪南労働基準会館)。
- 三日 帝塚山派文学学会文学講座 小出権禰宜講師(あべのボランティア活動 センター)。
- 五日 十五日祭。おいとしぼし社春季例祭。神稜講春季参拝。 鉄道神社祭 富澤権宮司·逸見権禰宜奉仕。 JR西日本
- 一七日 十日会研修旅行 愛知県豊川市砥鹿神社参拝 宮司以下神職四名参加 (翌日迄)。 大阪府高齢者大学講座 川畑権禰宜講師。 すみよし反橋能 実行委員会 小出権禰宜出席。
- 一八日 自衛消防訓練 宮司以下職員実施、住吉消防署副署長 倉橋律善氏以下 立会(G20大阪サミットに備えての要請による実施)。
- 一九日 (公財)全国国宝重要文化財所有者連盟 文化財研修会 宮司出席(静岡
- 二〇日 海上交通安全祈願祭。島津忠久公誕生記念祭、島津家第三二代島津修 財団 第一三代宗家 東郷重賢氏・示現流史料館館長 有村博康氏以下門 琵琶「小敦盛」弾奏、薩摩藩御留流示現流兵法演武(公財)示現流東郷 彦氏以下一二二名参列、加治木島津家第一三代当主 島津義秀氏 薩摩 会長 福永政治氏・住之江区長 西原 昇氏・住吉大社責任役員 太田重 久氏嫡男 島津忠裕氏·関西鹿児島県人会総連合会幹事長 下川検事氏· 友会奉仕。安立神輿会会議 日下権禰宜出席。 近畿鹿児島県人会連合会会長 中野俊洋氏・住吉住之江鹿児島県人会
- 日日 全日本伝統居合道連盟会長 甲斐国征氏以下二六名参拝。
- 三日 住吉大社セミナー「日本古代の植物油―神功皇后はこの地で榛油を ボランティア連絡会住之江 長谷川八重子氏以下七名来社奉賛。 霊会舞楽大法要奏楽 東野嘱託奉仕。堺まつり会議 古布 万力権禰宜。 阪地方協力本部・自衛達協力大阪連絡協議会一三名参拝。四天王寺聖 搾ったのか?—」奈良文化財研究所上席研究員 神野 恵氏。自衛隊大
- 二三日 靖國神社春季例大祭 宮司参列·逸見権禰宜随行。神社庁第九支部 園 各児童御田レンゲつみ。 会 神武権宮司・宮嵜 進藤権禰宜出席。どんぐり保育園・こぐま保育 二〇名参拝、同総会 日下 福山権禰宜出席。住吉踊保存後援会支部長
- 二四日 皇學館大学 河野訓学長就任披露会 宮司出席。長峡町会総会卓上講話 岡権禰宜講師(長峡会館)。大阪府高齢者大学校講座 川畑権禰宜講師。
- 二五日 職員定期健康診断。 宿院頓宮桜祭反省会 富澤権宮司·古布権禰宜出席 港住吉神社会計監査 神武権宮司出席。
- 二六日 住吉祭礼図屛風研究会 小出権禰宜出席(堺市茶室伸庵)。
- 二七日 住吉大社・枚岡神社 合同禊神事 「平成の大禊」 参加者七四名奉仕、大 海神社神宝 「干満両珠」特別開帳。京都文化博物館 「美を競う 肉筆浮 世絵の世界」開会式 宮司出席。
- 二八日 顕彰碑「遣唐使進発之地」(水江東穹画)除幕式 田中孝司氏奉納。 以下参籠。 宮司
- 二九日 天皇陛下御譲位御安泰祈願祭・昭和祭。 奉納(五月殿)。 山中生韻社「謡と仕舞の会」
- 三〇日 全国弓道大会前日直会 宮司・高階 河野権禰宜・西角神人出席。宮司

真弓 常忠 名誉宮司 帰幽

平成三十一年四月三日帰幽 享年九十七歳



追 悼

宮司

申し上げます。 故真弓常忠名誉宮司様のご逝去を悼み謹んでお悔み 髙井道弘

住之江区に鎮座する高砂神社という氏神様の宮司をも 宮司様は権禰宜でした。その時以来、実に五十年以上 兼務されていました。聞けば、戦後シベリヤから復員 の永きに亘りご高誼とご指導を賜わりました。当時、 私が昭和三十八年住吉大社に奉職した時、真弓名誉

> 後、神職としての道を歩み始められたのが住吉大社で 学に励んでおられたお姿を想い出します。 した。神社の宿直勤務の夜は、いつも机に向かって勉

学術的なご功績を遺されました。それと同時に、神社 浄財を募って修復し、 く奉賛会を結成され、氏子総代の皆様を牽引しつつご の運営面では、兼務社・高砂神社の御社殿を復興すべ 地を実地調査される等、住吉信仰の研究を続けられ、 始めご関係の諸先生方と共に、住吉大神ご鎮斎の痕跡 在任中、今は亡き元皇學館大学々長の田中卓先生を 該社の初めての遷座祭を斎行せ

います。 と激務を永く勤められました。 坂神社の権宮司に任ぜられ、 ばらくして、 した。ご研究の数々は今なお大きな影響を与え続けて られる等、 やがて、 また、 やがて教授となり後進の指導育成に当られま 戦後廃絶させられた皇學館大学の再興 神社の在るべきお姿を示されました。 推されて住吉大社の禰宜を辞して助教授 教鞭を取られている間、 神職と教授の二つの重責 京都祇園・八 後

ちに奉賛会を結成、募財と事業に邁進せられ、遷座祭や、老朽化した重要文化財の御本殿の修復のため、直皇學館大学教授を退任後、八坂神社宮司に就任する

を斎行すると共に祇園祭の興隆

かず、 災設備や境内整備、 進めるべく奉賛会を結成されま 古来より二十年毎の積習となっ 当社宮司に就任されました。 懇請を受けて、平成十四年秋に あった故敷田年博名誉宮司様の て御鎮座千八百年記念大祭を斎 ンポジウムや文化行事などを催 的建造物の調査、 ていた式年遷宮に向けて準備を 社の改革を断行されると共に、 に寄与されました。更に間を置 当社宮司に着任後、 面目を果たされました。 歴史と伝統の住吉大社とし 第四十九回式年遷宮そし 当時の住吉大社宮司で 同じく附帯事業である防 各種の学術シ そして歴史 直ちに神

> 奉舁は、 の生涯を駆け抜けられました。 の稀有な神職として、 ません。 なお果し続けています。 若神輿会のご助力を得ての再興となりました。 渡御を復活されました。 町の活性化のため、 常に全身全霊で事に当られ、 地域のコミュニティの統合と融和の役割を今 半世紀近く絶えていた人力の 研究者として、 この時は京都 その業績は枚挙にいとまあり 宮司として、 座学・実学兼備 八坂神社 神輿の の三 神輿

んでご冥福をお祈り申し上げます。を篤くご教導くださいましたこと、厚く感謝いたし謹永きに亘り御薫陶を賜わりましたこと、蒙昧な私共











殊に特筆すべきは、

南大阪の

田中 卓 先生をしのんで





『住吉大社神代記』



帰幽されました。 誉教授の田中 卓 先生が、平成30年11月24日、享年94歳で当社の史料所預で、元の皇學館大学学長、皇學館大学名

住吉大社の歴史研究の大恩人である田中卓先生との御縁は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの先生が大阪府立阿倍野高等学校の教諭は、戦後まもなくの発生が大阪人である田中卓先生との御縁が完成しました。

完していいに貢献することになったのです。先生のご研究によって、本書は天平3年の原撰、延暦8年(789)の写本であることが学術的に明らかにされました。そして、その内容は奈良時代のもの、さらにはそれい前の古伝を記述したものと認められ、神社の縁起書としい前の古伝を記述したものと認められ、神社の縁起書としい前の古伝を記述したものと認められ、神社の縁起書としい前の方法を記述された写真ならびに訓解は、その後の住吉大社研究に大いに貢献することになったのです。

昭和30年には住吉大社史料所預を委嘱、社史編纂にご尽力いただく一方で、住吉大社青年会の初代会長にもご就任力いただく一方で、住吉大社青年会の初代会長にもご就任力いただく一方で、住吉大社史料所預を委嘱、社史編纂にご尽

対のご意見を表明されていた三笠宮崇仁親王に進呈するな先生とともに昭和33年『神武天皇紀元論』を刊行、当時反むけて、高松忠清宮司の後押しもあって、恩師の平泉 澄本書の出版に前後して、先生は「建国記念の日」制定に

北 物人者 小を 中七日







史・下巻』を先生ご監修のもと、所、功先生・惠良宏先生・多忙を極める中での『住吉大社史・上巻』刊行でした。多忙を極める中での『住吉大社史・上巻』刊行でした。として伊勢に移られましたが、教育者として研究者としてといて伊勢に移られましたが、教育者として研究者としてという。昭和37年より再興・皇學館大学の教授と奔走されました。昭和37年より再興・皇學館大学の教授

念願の住吉大社通史3巻が完成となったことを契機に、でもある『住吉大社史・中巻』の完成となります。

成3年の式年遷宮事業では、先生の半生をかけた研究成果真弓常忠先生の執筆陣によって刊行しました。そして、平

5月講座では第260回を迎えたところです。は「住吉大社セミナー」に引き継がれて、ついに令和元年は「住吉大社セミナー」に引き継がれて、ついに令和元年演による「住吉セミナー」を開講、月ごと全12回の講座で演による「住吉セミナー」を開講、月ごと全12回の講座で演による「住吉セミナー」を開講、月ごと全12回の講座で

先生の8歳にあたる平成19年8月には、「祝詞 『遣唐使 時奉幣』について、古来の誤解を正し、難波津の位置と成 立時期を確定する」(『摂播歴史研究』二十五周年記念特集 う)という画期的な論文を発表され、研究者に大きな影響 を与えました。この論考は、日中交流1400年記念国際 シンポジウム「住吉津より波濤を越えて―遺隋使・遣唐使 がもたらしたもの―」の記念出版である『遺隋使・遣唐使 がもたらしたもの―」の記念出版である『遺隋使・遣唐使 と住吉津』(住吉大社編、東方出版、平成20年)にも先生 のご厚意によって収録されています。

業とご遺徳を追慕して止みません。 業とご遺徳を追慕して止みません。 大生のご事績はあまりに大きなもので、その全容を挙げ 大生のご事績はあまりに大きなもので、その全容を挙げ

惟古大北文

往去大北文

位音文社史 下水

(権宮司 神武 磐彦)

仮設足場等、平素と違う境内の様子になりますが、どうかご理解とご協力をお願い致します。 平成30年9月4日の台風21号による被害について国庫補事業修理の本工事を左記のとおり進めております。

記



一、事業名

二、修理対象建造物

国宝 住吉大社第二本殿

国宝 住吉大社第四本殿

重要文化財 住吉大社第一幣殿

重要文化財 住吉大社第二渡殿 宣男34月 住吉大社第二渡殿

重要文化財 住吉大社第四渡殿

重要文化財 住吉大社摂社大海地重要文化財 住吉大社第四渡殿

重要文化財(住吉大社摂社大海神社渡殿重要文化財)住吉大社摂社大海神社幣殿

重要文化財 住吉大社北高蔵重要文化財 住吉大社東西楽所

三、修理方針

屋根葺替及び部分修理

旧する。
旧する。
旧する。
には、大海神社幣殿の鳥衾瓦についてた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復めた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復いた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では関語部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では問題部分の棟の部分解体を行い、復じた東楽所では関語の様の部分を行い、復じた東楽所では関語を行い、復じた東楽所では関語を行い、復じた東楽所では関語を行い、復じた東楽所では関語を行い、復じた東楽所では関語を行います。

四、工期

済。本工事は3月から7月迄第一幣殿檜皮屋根のみ昨年に事前着工として施工

管理課

命和元年(2019) 住古祭の日程

神輿洗神事(みこしあらいしんじ)

7月15日 (祝) 21時45分 19時20分 18時50分 18時35分 18時17分 17時40分 15時55分~17時20分 還が発生 興よ 祭は興 和太鼓演奏 発輿祭 神輿洗神事 (正面鳥居前を発興) (復路) 住吉公園 住吉公園 住吉公園 第一本宮 反橋 第一本宮

住吉祭 (すみよしまつり)

7 31 日 7月30日 (火) (水 19 時 半 14時00分 20時00分 17時00分 (引き続き) (引き続き 例大祭 遷霊祭 宵宮祭 夏越祓神事 粉黛戴盃式 神輿鳴環参入 第一本宮 神 第一本宮 五月殿前 第一本宮 第一本宮 館

 (引き続き)
 例大祭
 第一本宮

 (木)
 9時0分
 第13時4分
 第14時0分
 第14時0分
 第14時0分
 第1本宮

 14時55分
 発息
 第一本宮

 14時25分
 (行列出発、正面鳥居前)

8月1日

荒和大祓神事 飯匙堀 帽室祭 宿院順宮 宿院順宮 宿院順宮 発 興 第一本宮

神賑行事(しんしんぎょうじ)

21時00分

20 17 時 30 00 分 分

21時30分

宿院頓宮

22時25分

② 献 炝 燈 ⑩獅子舞 ⑦住吉 踊 ⑥枕太鼓・子供神輿 ④ 庖丁式 ⑨かっぽれ踊 ⑧獅子舞 ⑤阿波踊り ③地車ばやし ①和太鼓演奏 [江戸芸かっぽれ] [總持寺山蔭流京奉会] [平野地車囃子保存会] [住吉大社御祓講獅子] [阿波踊南大阪連] [崇敬者]同 [上田獅子舞] [住吉踊保存後援会] [ボーイスカウト123団] 境内 境内 境内 住吉・住之江各地区 住吉・住之江各地区 境内 第一本宮 反橋 住吉・住之江各地区 7 月 29 日 7月3日・8月1日の終日 7月31日・8月1日の終日 7 月 30 日 7 月 30 日 7 月 31 日 7月30日・31日の夕刻 7月3日~8月1日の夕刻 7月13日~8月1日 7 月 15 日 7月3日の夕刻 10 時 〈 19 時 〈 15 時 16 時 15時55分~17時20分



元祖 さつま焼(登録商標)

十勝小豆を精製した昔からの銘菓であります。形どったなにわの味、だったなされる味であったさつま芋をさつま焼はその昔

焼き上げております。心を込めて、一本一本竹串に刺して殺伝の皮で包み、

淡白な味のこしあんを、

掛菓一之宮 住吉大社御用達御神饌調進処

幾星霜の老舗の味をご賞味ください。

店 大阪市住吉区東粉浜三丁目一二十一四株式会社

本

下AXO六(六六七八)四四二八〇六(六六七八)八一三〇

第32号の表紙 住吉大社のご朱印

件を超え、特に5月1日にはご朱印待ちが最大で3時間半となった。平成から令和にかけて多数のご参拝があり、10連休のご朱印だけで1万

